

四年ぶりの花まつり

5月5日の子どもの日に、4年ぶりとなる花まつりがおこなわれました。コロナ対策が続く中、役員さんたちが、何とか子どもたちのためにと検討をされ、お天気にも恵まれて無事に開催することができました。



覚浄寺の本堂で安正寺さんのお導師で「お勤め」をしたあと、住職からお釈迦さまの紙芝居、そしてお釈迦さまに甘茶をかける灌仏(かんぶつ)を、みんなでおこないました。甘茶をいただき、記念写真の後、お釈迦さまの花御堂に乗せた白い象を引っ張って字内を歩きました。子どもの参加が6人と少なかったため、行進は公民館で折

り返しましたが、楽しいひとときを過ごすことができました。コロナが5類に引き下げられ、少しずつ行事が戻ってくると思います。

◆ 親鸞聖人お誕生850年・立教開宗

800年慶讃法要の犬上南組団体参拝に、総代の田中三郎さん、前総代の澤泰人さん、役員の横井豊さん、そして住職と坊守が参加しました。南組の各地区から5台のバスに分乗して一路ご本山へ。書院や飛雲閣を見学し、お弁当をいただいた後、いよいよ御影堂へ。席は残念ながら端の方でしたがテレビモニターが近くにあったのでかえってはっきりと様子を見ることができてよかったです。

法要に先立って、布教使さんから法話があり、「そのままの救い」と「このままの救い」についてお話してくださいました。「そのまま」とは阿弥陀さまが、煩惱を抱えた私をそのまま救いましょう、という大きな願いのこと。それに対して、このまま救われるのだから、何をしてもいいじゃないかと思ってしまうのが私。つまり私たちの勘違いが「このまま」なのです。仏

六月(永無月)

- 一〇日(土) 犬上南組会(西心寺)
- 一一日(日) 鑽仰会役員会(長楽寺)
- 一七日(土) 寺族婦人研修(岐阜)
- 一八日(日) 山科別院慶讃法要
- 二四日(土) お講
- 二五日(日) 山科二十五日講法要(瑞祥寺)

秋季永代経・虫供養のお知らせ

七月二日(日) 午後一時半
ご法話 藤 真照 師(浄覚寺)



様の願いに生かされて、感謝の日々を送りたいものですとのお導きでした。法要は、雅楽の演奏や新しい作法など厳かで賑やかな雰囲気にも包まれていました。

親鸞展を見ってきました

親鸞聖人お誕生850年・立教開宗800年に合わせ、京都国立博物館で「親鸞展」が開催されていましたので見に行ってきました。

一番の見どころは、親鸞聖人の直筆の教行信証です。親鸞聖人独特の跳ねるような筆跡で、詳しい説明や修正がびっしりと細かに記され、聖人が一途にみ教えを伝えようとしてくださった思いが800年の時を超えて伝わってくるように感じました。

親鸞さま、850歳のお誕生日おめでとごございました!

6月の掃除当番は、安居弘さんです。お世話様ですがよろしくお願いたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ



一乗寺前に二千個のキャンドル

住職が代務を勤めさせていただいている三ツ池の一乗寺前で、5月27日の夕方から、たくさんのキャンドルが灯されました。前任職の谷口瑞石さんが生前に「こんなことができたらいいね」と言っていたことを、仲間たちが力を合わせて実現させたとのこと。字内の全戸に紙コップを配り、メッセージを書いてもらって、そこに蠟燭を入れて灯したのだそうです。他にも色とりどりの傘や「ありがとう」の文字が印象的でした。瑞石前任職の人柄が偲ばれる素晴らしいイベントでした。



前任職三回忌、前坊守十七回忌、前々住職二十七回忌をお勤めしました

浄楽院釋卓明(卓明)三回忌、浄香院釋尼妙通(通子)十七回忌、円覚院釋鳳城(鳳城)二十七回忌を合わせてお勤めしました。時が経つのは早いものです。母、通子は少し心配性なところがあつて、いつも父、卓明の体のこととを気にしていました。自分が病気になるってからも「私が死んだら、どうしはるんやろ」と自分のことより夫のことばかり気に掛けていました。

父はというと、母が往生した後は、周りの人たちに助けられながら、自分で料理を覚えたり浪曲を練習して披露したりしてポジティブに生きていきましたが、毎日の朝晩には、お仏壇の横にある母・通子の写真に向かつて歌ったり話しかけたりしていました。旅行に行く時も必ず写真を持って行って一緒に旅をしていました。父なりの妻孝行だったのでしょう。お浄土でも母に心配をかけているんじゃないかと、ちょっと心配しています。(住職)



「信仰とセクシュアリティを 考えるシンポジウム」開催

前号でお知らせしました西本願寺レインボープライド「信仰とセクシュアリティを考えるシンポジウム」が5月7日に龍谷大学大宮学舎で開催されました。世界的なメイクアップアーティストで浄土宗の僧侶でもある西村宏堂さん、ユーチューバーのかずえちゃん講演にたくさんの方が来場されました。住職も短い時間でしたが取り組みを紹介させていただきました。かずえちゃんのYouTubeチャンネル

で、2ヶ月ほど視聴できます。



くすくすクイズ QUIZ

インドなどの熱帯地方では、雨季になると、虫たちが元気に動き回るようになります。仏教では、虫たちを踏みつけて殺生することがないように、昔から、雨の季節にはお堂にこもって修行僧たちが勉強をしていました。これを安居とか、雨の季節なので雨安居、あるいは夏の季節なので夏安居などと呼びます。

さて、仏教で雨季の季節に修行僧がお堂にこもって勉強する「安居」。これ、書いて何と読むでしょうか？
「ヤスイ」じゃないよ。

先月号の答え

くすくすクイズ QUIZ

左の文章の()に当てはまる言葉
を左のAから選んでください。

お釈迦さまの母の(イ)さまは里帰りの途中の(ウ)でお釈迦さまを出産されました。お釈迦さまは(エ)と名付けられ、(オ)のお城に住んでいましたが、やがて出家し(ア)の施しを受けて苦行をやめ、悟りを開かれました。

- ア スジャータ
- イ マーヤ
- ウ ルンビニー
- エ シンダールタ
- オ カピラバストゥ

